

今月のトピックス

ブラウン管テレビにおいて、長期使用に伴う経年劣化が原因と考えられる、製品内部からの発火事故が発生しています。ブラウン管テレビについては経年劣化による事故が多く発生していますので、「映像や音が出ない」、「画像が欠けて映る」などの症状がある場合は使用を中止してください。今回の事故は、事故発生前に、画面が細くなったり、画面が出なくなるなどの故障状態となっていました。

対象製品をお持ちの方は直ちに使用を中止し、製造事業者や販売事業者等にご連絡ください。

区分	ブランド	対象型式	製造期間	問い合わせ先
ブラウン管テレビ	三菱電機	29C-AT1、29C-AT81、29C-AT91、 29C-AT1BS、29C-BA1、27C-AT1、 29C-AT2、29CAT92、29C-DA2、 27C-AT2、29C-AT3、29C-AT93、 29C-A3Z、27C-AT3	1988年 (昭和63年) 5月 ～ 1991年 (平成3年) 1月	<三菱電機受付センター> ※ブラザー工業ブランドも対応 電話 : 0120-250-395 受付 : 9:00～17:00(土・日・祝日を除く) ホームページ : http://www.mitsubishielectric.co.jp/oshirase/ctv1001/
	ブラザー工業	CT29-844、CT29-845、CT29-846、 CT29-847、CT27-742		

◇ 平成22年2月の重大製品事故公表情報(消費者庁)

[単位:件 ()内は長野県内での発生件数]

ガス機器・石油機器に関する事故	ガス機器・石油機器以外の製品に関する製品起因が疑われる事故					その他の主な製品の内訳
	テレビ(ブラウン管)	エアコン(室外機)	電気ストーブ(ハロゲンヒーター、オイルヒーター)	その他		
51 (1)	19	4	3	3	9	・電気洗濯機 ・電気洗濯乾燥機 ・電気カーペット ・電気こんろ ・電子レンジ ・充電電池(充電式懐中電灯用) ・折りたたみ自転車 ・空気圧縮機 ・ドア

※ 詳細な情報は、消費者庁のホームページをご覧ください。

(<http://www.caa.go.jp/safety/index.html>)

自転車を安全に使用するために

身近な乗り物である自転車の製品事故が増えています。中でも最も多く発生している事故は、車輪への異物の巻き込みによるもので、異物を挟み込んだために前輪が突然ロックして転倒し、手首を骨折したなどの事故が起きています。また、チェーンやギアのさびが原因で突然チェーンが外れて転倒したり、ネジの緩みからハンドルがぐらつき転倒したりするなどの事故も起きています。

多くの事故は使用者が日常的に点検を行い、正しく使用すれば防げたと考えられます。使用の前には、不具合がないか点検を行い、異常を発見したら必ず販売店などで自転車安全整備士、自転車技士または同等の技能を有する者による点検を受けてください。また、傘、ステッキ、釣り竿などを車体に差し込んだり、ハンドルに物をぶらさげたりするのは大変危険ですのでしないようにしてください。

【発行】長野県 企画部 消費生活室

電話:026-223-6770

ホームページ:<http://www.pref.nagano.jp/kikaku/seikatsu/jyouhou/index.htm>

ブラウン管テレビ

キャビネット正面及び背面の銘板に記載されている機種型式をご確認ください。
※本体形状は機種型式によって異なります。

